

次回講座の案内

●絵本を楽しむ講座

第1回 「愛と冒険は成長への道標」

・日時 6月5日(水)10時～12時

・会場 熊本市立図書館 集会室

●子どもと共に「わらべうた」をたのしみ

「おはなし・絵本」の世界へ誘う（全4回）

（第1回）

・講師 廣渡しづのさん

・日時 6月23日(日) 14時～16時

・会場 くまもと県民交流館 パレア

●物語を楽しむ講座

第1回 「今村章子作品を読む」

・課題本『ひとりたりない』（理論社）

『ゆきのよあけ』（童心社）

・日時 6月26日(水)10時～12時

・会場 熊本市立図書館 集会室

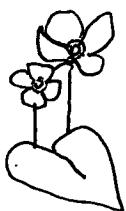
●お話を楽しむ講座

第2回 「語りと耳で楽しむお話について」

・日時 7月10日(水)10時～12時

・会場 熊本市青年会館 研修室

～皆様のご参加をお待ちしています～



●本はともだち！

会社員をやつている関係で、イノベーション推進や働き方改革関係の本も良く読むのですが、最近一番印象に残ったのは、漫才コンビキングコングの西野亮廣氏の『革命のファンファーレ』と『魔法のコンパス』です。

彼は、絵本『えんとつ町のペル』を大人数の分業制で製作するだけでなく、絵本の全文を無料公開したり、絵本の会場内販売を条件に原画展の開催権を無償提供したりと、絵本来を売るという目標達成のために、前例のない手法を試しています。これらの本では、その手法（アイデア）を実施した理由を、心理分析を含めて分かりやすく紹介してくれています。

「人が時間やお金を割いて、その場に足を運ぶ動機は、いつだって『確認作業』で、つまりネタバレしているモノにしか反応していない」。確かに、読み聞かせのためにと考えている親にしてみると、内容が分かつているほうが安心して購入できます。「必要なモノは買うし、必要じゃないモノは買わない。な

らば、少し魔法をかけてあげて、作品を“必要なモノ”にしてあげればよい」。原画展に行つたという特別イベントの記念品（おみやげ）として、ついつい絵本を買ってしまいます。

彼の本を読んでいて、私達の研究会の活動についても、活動に参加することの楽しさを会員外の多くの人々に知つてもらいたいから始めたほうが良いのではという思いをますます強くしました。4月の開講講座に始めて参加された方のように、本について一緒に議論する」との楽しさを求めている方も多くいらっしゃいます。そのような方が集まる場、寄稿する場（会報・ホームページ）を研究会として整備できればと思っています。（横田真）



■編集＝金子・田原・堀《イラスト》安田晶子

特定非営利活動法人
熊本子どもの本の研究会 発行

〒861-8029
熊本市東区 西原一丁目一五の一四

T／F 096-382-5090